

地域医療調査研究特別委員会中間報告説明会（村上地域）議事録

当委員会では、これまでの調査研究内容を取りまとめた中間報告を各地域の区長会において説明し、当日、各区長会からの意見聴取を行ないました。

この説明会において聴取した意見を踏まえ、当委員会としての最終的な調査研究報告書の取りまとめを行い、当市における地域医療の抱える課題や問題等の克服に向けての施策を行政に提言することとしています。

以下に、各地域で開催した説明会の議事録（簡易）を記載し、意見聴取の状況についての経過を説明します。

村上地域 [平成24年2月3日(金)] 村上市民ふれあいセンター2階研修会議室

出席議員：板垣一徳委員長、長谷川孝副委員長、板垣千代子委員、鈴木いせ子委員、川村敏晴委員、小杉和也委員、川崎健二委員、平山 耕委員、相馬エイ委員、小林重平委員、小池 晃委員（11名/12名）

議事録(簡易)

副委員長 おはようございます。行政の説明会の前に冒頭の貴重なお時間をお借りしまして地域医療調査研究特別委員会の中間報告について説明をさせていただきます。私は副委員長の長谷川孝です。よろしくお願いいたします。進行させていただきます。それでは委員長より説明させていただきます。（委員長から中間報告の概要説明）

副委員長 皆さまから、質疑やご意見があります方はよろしくお願いいたします。

Q 人口の推移等を調べたものを見てみると大変急がなければならない問題だということが分かりました。ついては、最高の対応策というのは市民病院をつくるのがいいのではないかなと、合併のときはそんな夢を見ました。そういうようなことを考えてみたのかどうか。それから、医師の確保とか勤務医の負担軽減とかいろいろありますが、県立医大をつくらうと泉田知事は言っていますが、新潟大学の方は反対しているようです。村上市はどんな考えを持っているのか、議員団のほうですけども、どんな考えを持っているのか。それから、今も直ぐ分かるのですが、こういう吹雪になると日東道もストップ、羽越線もストップです。そういうことから考えると7号線が一番強いのかなあと思っているのですが、そんなのは本当かどうか分かりません。そこら辺のことはこの提言に考慮されているのかどうか質問します。以上3点お願いします。

委員長 はい。まず市民病院をつくるということは特別委員会で議論したことはございません。まあ、いろいろと経費の問題もありますし、そこまでは至っておりません。2点目の医師の確保についてであります。これは都市部は医師がたくさんいるわけですが、過疎地については非常に医師が不足しているのが日本全体の問題だと思いますし、今ほどお話があったように、昨日の新潟日報でも泉田知事が医学部を増設したいというような記事が載っていましたが、そういった観点からも貴重なご意見であ

りますので、持ち帰って地域医療調査研究特別委員会で議論し、最終報告にまとめたいと考えています。それから最後に道路の問題ですが、昨日の寒波は非常に、まれに見る寒波ではなかったかと思いますが、私も救急医療、3次医療を受けることができるのは新発田病院だけなのであります。この圏域から一番近い所ということでは。その観点から考えますと、言われるように、日東道についても1車線で2車線でありませんので、救急車が大型トラックが走っているとそれを追い越して救急患者を搬送することが困難だというお話も聞いています。そういった観点も踏まえて、特別委員会の中で最終報告の中にこの道路の問題の整備については取りまとめていきたいと考えています。

副委員長 ほかにありますか。

Q ありがとうございます。

Q おはようございます。まず前段ですが、議員各位が4年前の選挙で選ばれて、議員活動をしてこられました。多分当初はいろいろな運営上の違い等で多くの問題があったと思いますが、議長からお聞きしたのですが、一つひとつ解決して安定した議会運営になっているとお聞きして大変良かったなあと思っています。中間報告を読ませていただきました。4年の歳月をかけて調べられた結果ですけれども、数字を見ますと私らもうっすらとは分かっていたんですけども、本当に事態の深刻なことを改めて伺わせていただきました。それで、お聞きしたいのですが、こういう事態については板垣委員長さんからいろいろとお話がありましたが、ある程度は分かっているながら、じゃあどのような提言をしたり、議員立法されたりして7つの提言を具体化しようとしてきたか、4年間の実績についてまず1点目質問したいと思います。それから2点目、4月に議員選挙があるわけですが、引続き議員に立候補されて当選される方も多いと思うのですが、当選されたらどのような形でこの7つ、総合的にはあると思うのですが、どこから手をつけてどこから具体化しようとするのかお聞きできればありがたいなあと、この2点についてお聞きします。区長会としても議会と同じ認識に立ちまして、例えば村上病院の早期改築に向けた要望など等も行ってきていますが、なかなか具体化しないところでもあります。そうした中でお願いできればと思いますし、医師の確保等についても例えば村上市の奨学金を今は一般的になっていますが、例えば医学部に進学するこの村上の地域の生徒に特に手厚く配慮して医師になった時点で戻ってくるとか、そういった手もあるのかなと思って要望しているところでもありますが、ぜひ議会のお力添えもいただいて地域の充実に資するようお願いできればとこのように思って質問させていただきました。以上であります。

委員長 大変貴重なご意見をいただきました。私が一人でできる話ではありませんので結論的なことは差し控えさせていただきますが、まず1点目の私どもが取りまとめた7つの提言の項目につきましては、1次医療を

やっている医師会の会長さんから代表していろいろと提言をいただきました。その後1.5次医療をやっている徳洲会病院の院長先生とも研究調査をさせていただきました。村上病院、坂町病院、それと記念病院の院長先生ともお話しをさせていただき、新発田病院の3次医療の病院を見学しながら、院長先生といろいろな新発田病院の役割、現在の状況等について研究調査をした結果をこの7つの項目に中間報告として取りまとめたものでありますのでご理解いただきたいと思います。それから、次の質問ですが、今度新しい4月8日告示、15日投票ということで市長選と市議会議員選挙があります。現在のところ地域医療調査研究特別委員会で今期中に最終的なまとめは無理であろうと考えています。それで次期の改選後の議会にこの地域医療調査研究特別委員会を継続していただくように考えています。それから、医師の確保のことで先ほどからありますが、実は村上病院の院長先生とのお話の中で、やっぱり230のベット数ではインターン生が村上病院に来れる状況ではないということだそうです。ですから、300以上のベットを擁して、医師が、すべての科目の中に専門医が来てこそ総合病院であり、はじめて若い先生方、インターン生がその病院に来ていただけるということだそうです。そのインターン生と連携をとりながらこの地域に残っていただくというのも一つの医師の確保ということに繋がるのではないかと伺っています。そのようなことも踏まえて、先ほどお話も出ましたが、泉田知事の発言も踏まえて最終的な提言の中に盛り込んで参りたいと考えていますので、貴重なご意見いただきましたのでどうもありがとうございます。

副委員長 他にご意見ありますでしょうか。

Q お世話様です。今皆さんのお話を聞いておりますと、どうしても村上病院はこの地でなければだめなのか、もう少しその辺委員の方も考えてみたらどうですか。私はそう思いますよ。例えば、岩船は粟島もあります。粟島航路も使っています。海上自衛隊の船も入っています。言うなれば陸海空、これは緊急のときも使われます。そういったことをもう少し考えてもっと場所も別なところもあるのではないかと私は思います。この瀬波温泉を見たら皆さん一番良くわかるのじゃないですか。昔の市民会館、みんな空いているでしょう。言うなればお化け屋敷いっぱい続いているわけです。その辺も議員の皆さんも頭働かせてしっかりそこでどうかということも考えてください。それでなければこれから中間報告なんて言たって、こんなところに話したってどうしようもないのですよ。そういうことをもう少し委員長さんも含めて考えてください。陸海空ということも緊急の場合も含めて考えてください。それから、今岩船にはリハビリテーション大学があります。そこに偉い教授もいます。生徒もいます。緊急のときにはその生徒も使われるかもしれませんし、先生方も使われると思います。そういうことも考えて病院というものは、今一

刻どんな病人が出るのかもわかりません。地震と同じですよ。これから考えますではだめ。今すぐやろうというその気持ちを持って、今これから4月に選挙もあります。そういうことも考えて、もう少し言い方悪いですけども、いつまでも岩船の体育館とまったく同じでしょう。場所はここだって言えば、それこそ地盤軟弱でだめだと、これは投げやり。今のジャスコの跡地もまったくそのとおりでしょう。ならばそこがだめなら直ぐどこにしようということをお皆さんで考えてください。これは議員だけではだめです。一般の方からも今の病院はこんな状態だからどうするんだということをお、アンケートでなくてもそれなりの人に聞いて即実行に移してください。予算もないかもしれませんが、これは個人の問題ではありませんので、そういったことも踏まえてこれから早急に考えていただきたいと思ひますし、4月に選挙もあります。それを踏まえて皆さんががんばってやってみてください。そう思ひます。以上です。

委員長

場所の問題だと思ひますが、実は昨日は神林、山北、その前は荒川ということで回ってしまひて、神林のほうに行けば市内ではあれなのでやっぱり広い所の神林にもって来たらどうかというご意見も実は拝聴してしまひます。しかしながら、この場所の問題については、厚生連病院は個人の病院でありまして、特別委員会でおこの場所がいいというような定めにはなりません。この村上病院からジャスコ跡地を要請されたのは厚生連から行政のほうに、市長あてにそこに病院を建設したいという要請があつて調査をした結果そこが不適格だということになつたわけですよ。この点についても十分検討し、調査をして最も良い場所に建設できるように特別委員会としても努力だけはしていきたくと思ひますが、如何せん個人病院の厚生連から、ここであれば良い、お願ひしたいということをお村上病院の運営審議委員会という強い組織がありますので、ここには村上市長、関川村長、粟島浦村長も加わつてしまひますので、その運営審議委員会の中で、もちろん厚生連の病院長も加わるわけですよ、その中で議論され、いろいろ場所の問題や施設の中身については検討されてお伺ひしてしまひます。十分貴重なご意見でありますので、持ち帰りまして協議してよろしくお願ひします。

副委員長

ありがとうございました。他にありますでしょうか。

Q

ごめんください。民生児童委員の連合会の関係で12月17日に新発田市で第5回の地域医療フォーラムがありました。そこに出席した議員の方はいらっしゃいますか。どなたもいらっしゃらなかつたかもしれません。行かれませんでしたか。

委員長

出席していません。

Q

出席していませんか。そのことについて若干、大変良いことだと思つたことをこの提言の中に入れていただければありがたいと思ひながらいたのであります。これ読ませていただけてですが、大変りっぱな提言をまとめていただいたことに感謝申し上げたいと思ひますが、私たち

民生児童委員をしていると大変介護で苦労されたり、病気をしているもお医者さんに診てもらえなかったとか、緊急のときも何軒もお医者さんを回ったとか、非常に大変な状況があるのだなということをお聞きすることがたくさんあります。入院するベット数が足りないということは当然分かるのですが、この地域医療フォーラムではこういうことを言っているんですよ。「地域で命を守る」何を言っているのかというと、実は医療連携をしようと、つまり、開業医と村上病院とか、新発田病院とかこういうところで二人組になってその患者を見守ろうという医療体制を考え直そうという考え方を取っているのですよ。私そこで質問したのですが、開業医の先生方がそうした認識が高くないと、坂町病院とか、村上病院とかの先生方とかの連携を、二人で一人の患者の面倒を診る。そのため連携ノートとかいうものをつくり、コンピュータでやり取りするといった状況で、緊急の場合はそれを直ぐに受け入れる体制をつくらうということで、新発田市では既にやっているんですね。村上市ではどうでしょうかと聞いたら、村上は今後の問題です、課題です。ということを書いていました。新発田の病院の医師が書いていました。この辺のことをぜひもう少し、周辺の医療体制をしっかりと把握していただいて、どんな医療体制で地域の住民を守ろうとしているのかということ、ぜひもう少し把握をしていただきながら提言に加えていただければありがたいと思います。以上です。

委員長 ありがとうございます。貴重な提言です。

副委員長 はい、ありがとうございます。どうぞ。

Q お疲れ様です。中間報告の提言ということでまとめとしてはこんなものかなということで読ませていただきました。私は4番の、(4)の安心して入院できるベット数の確保と介護者の負担軽減についてということで、私の町内でもお母さんがちょっと認知症気味で足腰が悪くて、介護施設に入れたいんだけどなかなかベットが空かないということで、聞いてみたらこの下越地域には荒川地区なのだけでも、100人待ちとか、200人待ちとかいうような状況でとても入られないということでした。その家族の方は町内にとっても大事な人なので、町内活動に参加していただきたいとお願いしても、母親の介護でヘトヘトだというような実態が私たちの町内でも何人も居ます。ここに集まっている皆さまのところもそういう方が多く居るのではないかと思います。そこでこの中でグループホームを設置した方が良いのではないかという意見もあります。高齢化が進む中で避けてとれない問題だと認識していますと、特に特養が良いのか、グループホームが良いのかといったあいまいな表現で、中間報告なのでということなのでしょうけど、4年間もやってるわりにはここで下越地方において、村上地区において何人の人がそういった特養とか介護施設に入っているのか、待っているのかというようなことを具体的に調べて、この地域には施設がどのくらい必要なのかというよう

な提言を、まあこれは中間報告ということなのだけれども、最終的には議員の皆さんも、あと2つとか3つとか施設をつくっていただきたいと、私たちががんばっていくと。見てみると4年間に一つもできていませんよね。確かに小さいグループホームはできています。グループホームに私の母親も入りましたが、グループホームに入る人は限られているんですよ。皆さまもよくお分かりと思いますが、自分で下の世話もできる、お風呂も入れる、ご飯も食べられるという方がグループホームに入ることができるので、本当に悪くて寝たきりでとてもじゃないが、老老介護でできないんだという人がいっぱいいると思うんですよ。そういうことをもう少し考えてもらって提言に加えてもらいたいと、具体的に考えてもらいたいと思います。以上です。

委員長

貴重なご意見です。実はこの圏域で特別養護老人ホーム、今お話のあったグループホーム等に申請を出して待っていらっしゃる方がダブっている方もあるとは思いますが、800人あると聞いています。そういう中で、今ようやく少し県の方で第5次医療計画がありまして、村上市で100床要望したそうですが、24年度に29人のベット数、そして25年度に29床のベット数しか県で許可を出さないというのが実情でありまして、県ではこの5次の計画に当たって新潟県内の希望を取りましたところ、2,700床の希望があったけれど、それを減らしまして村上市は100床希望しましたが58のベット数しか2年間に与えられなかったという現状であります。私も十分そのことを提言し、最終報告には強く訴えて参りたいと考えています。大変貴重なご意見でした。

副委員長

ありがとうございました。予定の時間も経過していますが、もし他にご意見がないようでしたら終了させていただきたいと思います。どうぞ。

Q

ちょっとお伺いします。我々の方でああだこうだやってるわけですが、この県北の医療に対して県の方針、並びに厚生連のウエイトの置き方これ皆さんヒヤリング終わってると思うのでその辺の話を聞いてみたいと思うのですが、というのは、私が前に聞いたことあるのですが、村上病院の改築の件で厚生連の方に行き行って聞いてみたら、なにばか言ってる、村上は後だ、佐渡の方が先なんだぞ。とお叱りを受けたことがあるのですが、その佐渡もオープンしているわけですから、もう既に村上のほうは着工しても良いのではないかと期待を持っているわけですが、どうも、県の考え方というか、新発田につくってあるから村上の方は程ほどにやっておけというのか、それともいずれは厚生連に任せるから県立病院は引き下がるという話になっているのか、その辺の話をちょっとお聞きしたい。

委員長

県では、今から何年前ですか、5年前くらいでしょうか。新潟県に県立病院は6ヶ所と規定し、この下越地方には新発田病院を、いわゆる道路の整備をして旧山北町から救急患者が1時間以内に到着できるという判断のもとに新発田病院を建築し、そして瀬波病院も県が引き上げて今は

厚生連が運営しているというのが実情だと思います。そういった中で、県では、坂町病院が県立病院であります。坂町病院を大きく拡大して、医師をどんどん入れてくれば、荒川、関川、神林には、南部の大きな活性化協議会がありますので、毎年、医療とか河川とかの運動を展開していますが、坂町病院にすら県ではどんどん医師を送るということではなく、医師がどんどん減っているというのが現在の状況です。私どもとしてもこの村上圏に厚生連病院で良いのか、それとも先ほども冒頭にお話のあった市民病院が良いのか、県に再度お願いしてどういった方向が良いのかということも含めて私どもの最終答申を出したいとこのように考えていますので、非常に県と私どものこの地域が離れているという、考え方が離れているということは今始まったことではなくて、この県立の救急医療病院を建てるという時点で私ども議会にも、まだ合併はしていなかったわけですが、旧市町村単位の議会にもそういった報告があり、それを了承して、今の3次医療の県立新発田病院が建設されたというように私は記憶しています。

副委員長
委員長

ありがとうございました。それでは委員長からあいさつ申し上げます。大変貴重なご意見を頂戴しましたので、遅いという岩船の区長さんからの叱りも受けましたが、私ども議会だけでできるものでもありません。行政だけでできることでもありません。多額の経費を必要としますので、市民の皆さんと今後もこのような会を持ちまして、よりこの地域の医療の充実が図られるように地域医療調査研究特別委員会で答申を出して参りたいとこのように考えとりますので、よろしく今後ともご指導をお願いしたいと思います。今日は大変ありがとうございました。

Q

終わってからですみませんが議員の皆さんにお願いがあります。今日のような問題について、何か聞きたいとか、意見を申し上げたいといったときは、高橋さんに言えば良いですか。それぞれの自分の支持している議員さんに言えば良いのですか。

委員長

事務局の方にぜひ、議員は今任期から4人ほど減になります。今現在は30名の定数ですが、4人も減しますので議員、議員といってもなかなか広いもので、議員でも結構ですが事務局の方にいろいろなご提言をしていただければ大変私どもありがたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

Q

分かりました。

